



## キラリ事業所訪問 16

食に特化した新しい形のデイサービス「レストランデイサービス 向日葵」

### お刺身に変わり湯、自分も受けたい“おもてなし”

(株)ひまわりくらぶ 代表取締役 中野誠治さん



中野誠治さん(47歳)。「おいしい食事や風呂を楽しむ感覚で来ていただきたい。デイサービス利用のきっかけになるとうれしいですね」

自分が高齢者になったとき、このサービスを受けたいと思うだろうか。こちらが決めつけているだけで、高齢者が本当に求めているものは違うのではないか。呉市や熊野町で介護事業を展開する(株)ひまわりくらぶ代表取締役の中野誠治さんは、大手百貨店の営業職からの転職というキャリアの持ち主。誰もが一度は感じたことがある介護サービスへの違和感に正面から向き合い、接客業の視点を取り入れた食に特化した新しい介護サービスに取り組んでいます。“お世話してあげる”介護サービスから“おもてなし”へと変換させるため、おじぎの角度から見直したと言います。

“デイサービスだからこうあるべき”という概念を取り払い、よいレストランをつくり、そこに介護に必要な要素を加えよう」と平成23年6月、広島市中区に「レストランデイサービス 向日葵」を設立。サービスのメインは「豊かな食事」。機能訓練を行うレクリエーション室とは別に専用のレストランを設け、店内は落ち着いた和モダンの空間。一般のレストランと間違えて入ってくる人も多いそうです。カウンター席もあり、「集まる場所は好きだけど仲間の輪に入るのが苦手」「食べこぼしを見られたくない」といった利用者の繊細な気持ちに寄り添い



ます。食事には西区草津港から毎朝届く魚介の刺身と、小鍋や陶板焼きなど一人用卓上コンロを使う料理が必ず付きます。ごはんは日替わりで、白御飯の日はありません。献立は栄養士が監修し、栄養バランスのとれた食生活をサポート。高齢者向け宅配食事サービスのノウハウを生かして、一人一人の食事制限や食材の大きさや固さなどにも細かく対応します。



さらに、全国各地の物産展や、産地直送の旬の食材をテーマにしたバイキングなど、食のイベントを月4回のペースで実施。イベント日には利用者が1日50人を超え、「今度は何を食べさせてくれる?」と回を重ねることにますます期待が高まります。

入浴サービスもユニークで、毎月26日のおふろの日には食材による変わり湯を提供。8月はセロリ湯で、入浴後に特製スイカジュースも用意。「スーパー銭湯のつもりです」と笑う中野さん。風呂場の壁にはペンキ絵師が描いた富士山や宮島があり、これらを眺めながらゆったりと入浴できます。

利用プランは、午前、午後、1日の3パターン。併設する高齢者向け宅配食事サービス事業が送迎を受け持つため、介護スタッフは落ち着いて介護にあたることができます。レストランで食事を楽しみ、スーパー銭湯で体をほぐす一日。おもてなしの心が、自分のペースで自分らしく過ごす時間を約束します。

#### <DATA>

##### ■レストランデイサービス 向日葵

開所時間 午前 9:00～14:00(定員40人)  
午後 14:30～18:00(定員40人)  
1日 10:00～18:00(定員10人)

休日 無休

広島市中区舟入南4-20-2 ☎082(532)1305  
<http://www.e-himawariclub.com/>

## 未来につなぐ人財育成のエッセンス⑥

# 「ほめる」職場がモチベーションを加速させる

リエゾン地域福祉研究所 代表 丸山法子

(社会福祉士 介護福祉士 介護支援専門員 生涯学習開発財団認定コーチ NLPマスタープラクティショナー)



東京オリンピックよりほぼ前に生まれた世代は、「叱られることに慣れている」のではないのでしょうか。小学校の授業中、さわぐ生徒にチョークを投げて注意する先生、体育の時間にふざけていた生徒にトラック5周を命じる先生。私は「廊下で正座」が多かったのですが、悪いことをすると叱られる、という分別をしっかり身につけることができました。ただ、叱られたあとのフォローは実に上手で、先生のさりげない愛情の一言や、さわやかな笑いにしてしまうというハイテクニックをふんだんに活用するカリスマ教師もいて、いわば、叱られながら成長してきたのです。

ところが、叱られ慣れている世代は、ほめられることに全く慣れていません。「いつもすてきですね」と言われても「ああそう」と仏頂面。ほめられてもどう反応していいかわからないのです。

一方、今の30代半ばより若い世代はほめられ慣れていません。いいね!のシャワーを幼少のころから浴び続け、リアクションのしかたや、謙虚な受け止め方まで知っています。「前髪切ったね」みたいなちょっとした変化や、なんてことないささいなできごとであってもほめあう。「ほめられて成長するんです、私」と真顔で言えるのがこの世代です。

反面、叱られ慣れていないから、たまに注意されることがあれば全人格を否定されたととらえ、出勤できなくなったというケースもあり、実際に「ガラスのハートなんです、私」と言われたこともありました。

世代のギャップと言ってしまえばそれまでですが、もしあなたが、「ほめられ慣れていない」「ほめられてもどうしていいかわからない」または、「ほめる時間がない」「ほめる機会がない」といった上司だったら、本心で部下をほめることができるでしょうか。また、スタッフが、注意されるたびに、その言葉に心に傷を負い、やる気がどんどん低下する波に翻弄され、くもった表情をしていたとしたら、いい介護ができるでしょうか。

「ほめる」風土づくりには仕組みが必要です。ほめることは、モチベーションを引き出し、失敗を成長のきっかけとしてとら

え、つぎにいかすことができます。それが続けば、職場を元気にすることができ、それは利用者なら敏感に感じ取って「ここにくると元気になれる」という評価につながります。すてきですよ。

ここで、ほめるしくみについて少しだけ紹介をします。みなさんの職場ですすでお互いを大切にしたい雰囲気が出てきていると思いますが、もし活用できそうなことがあればやってみてください。

### ① 24時間以内にあっという間だったこと・感謝したいことを発表しあう。

仕事をしていていちばんうれしい「ありがとう」を伝えあう機会をつくりまします。1日1回、朝礼やミーティングにとりいれてください。ほめる雰囲気づくりに効果があります。

### ② 誕生日や記念日を祝う

その人が輝ける一日。スタッフみんなからの「おめでとう」はうれしいものです。サプライズがあれば喜びと一体感を味わえます。

### ③ 利用者に協力を依頼する

利用者には、スタッフの一人ひとりがよく見えています。ぜひ、日ごろからのいいところをほめてもらうようお願いしてみましょう。きっと引き受けてくれるはずですよ。

職場のあらゆる課題を解決するにはこうしたシンプルな方法がきいたりします。まずはリーダーから取り組みませんか。

## 介護を語るあなたへ贈る本

### 「愛されるアイデアのつくり方」

エステー化学のCMはいつもクスッとさせてもらえる。そんなヒットCMを生み続ける特命宣伝部長の著書。愛されるアイデアはおもいのほか「心へのアプローチ」があった。介護サービスを必要な方々へお届けするときに共通する、決して忘れてはならない視点がふんだんに書かれている。とりわけ、とことんお客様と向き合うために、どうしたらいいのかわからぬ経験を(雪印乳業に勤務し「雪印事件」で対応する)をふまえて語るには目頭が熱くなる。今、介護保険制度にがんじがらめになったサービスを、これからの要援護者のためにさらにアイデアを広げるべきではないかとさえ感じる。経営者も現場スタッフもぜひ読んでおきたいじつに臨場感あふれる一冊だ。



鹿毛康司 著 WAVE出版

## 1.2.3...? 気になる数字

### 「女性 世界2位へ」

2011年の日本人の平均寿命は女性85.90歳、男性79.44歳で、前年比で女性は0.40歳、男性は0.11歳縮んだことが、厚労省の簡易生命表で分かった。男女とも09年に過去最高となった後、2年連続で縮んだ。日本人女性の平均寿命は10年まで26年連続世界一だったが、11年は香港の86.7歳を下回り2位となった。日本人男性も4位から8位に順位を下げた。



## 介護のための医療用語・医学知識（7） 「経管栄養・胃ろうについて」(前編)

訪問看護ステーション「さいの」 看護師 玉田八重子



平成 24 年 4 月に介護保険制度の改定があり、「痰の吸引と経管栄養」を登録した事業所では、介護福祉士や研修を修了した介護職員が「口腔内、鼻腔内、気管カニューレ内の喀痰吸引、胃ろう又は腸ろうによる経管栄養、経鼻経管栄養」を行っても良い事になりました。5か月が経過しましたがいかがですか。前回に続き「用語・医学知識・実施のコツ」を再確認してみましょう。(次号では、実際の手順でのコツ等をお伝えしたいと考えています。)

**経管栄養の管は身体の中にどのように入っているのでしょうか。**

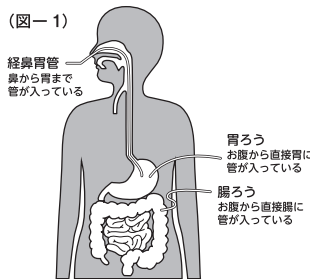
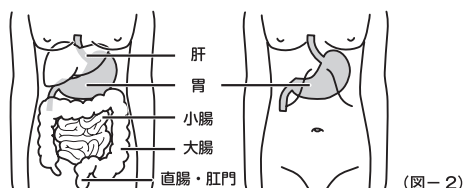
(図-1参照)

**経管栄養が必要になる状態は？**

- ①嚥下、摂食障害がある方(飲み込みや食事が出来ない状態)
- ②「誤嚥性の肺炎」を繰り返し起こされる方
- ③その他、医師が必要と判断して本人・家族の了承が得られた方

\*最近、「あるがままに最後まで穏やかな人生を」という考え方もあり、自分で食べられるだけを自分の口からという、無理な経管栄養はしないという考え方もあります。

**胃はお腹のどのあたりにあるのでしょうか。**(図-2参照)



**胃ろうの管は、どのようにお腹に入っているのでしょうか。**

(図-3参照)

**胃ろうをされている方の日常の管理(毎日、毎回、確認をしましょう)**

- ①お腹に入っている管の周囲の皮膚の状態は変わりがないですか。「赤くなったり、管の周囲がジトジト湿っていたりしていないか等(感染兆候)」をみましょう。
- ②入浴は、感染兆候が無い時はそのままOKです。感染兆候がある場合は、医療職に相談をしましょう。

③口から食べていなくても、口腔ケアは1日3回必要です。

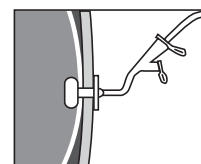
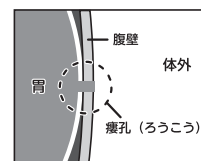
\*口から食事をしないと、唾液の分泌が悪く、また、口の中は温度が良く雑菌が増えやすい環境です。お口の雑菌が気管の方に流れこんで肺炎の原因になります。

\*歯ブラシやスポンジブラシ等で汚れを取りましょう。同時に、舌の上や頬の内側の場所も適当な力で清拭をして刺激をしましょう。

\*安全に経管栄養を行うためには、チューブ類のトラブル、利用者の状態に変化がある時は医療者に連絡・相談を気軽にしましょう!!!

参考引用文献:「介護職員等によるたんの吸引等研修の指導者マニュアル」

(図-3)

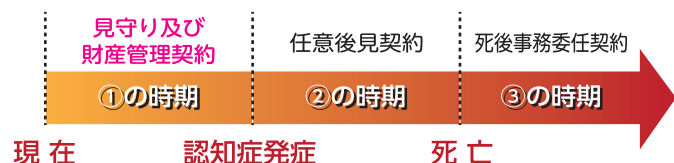


## 「後見制度の活用方法」第4回

司法書士 飯島きよか



前回、「任意」後見制度について、3つの契約をすることで、「現時点から亡くなった後の事まで、全ての時期について決めておくことができる」というお話をさせていただきました。今回は、【見守り及び財産管理契約】(①の時期)の具体的な内容について、話を進めていきます。



**【見守り及び財産管理契約】**

①の時期(現時点から、認知症が発症するまで(=任意後見契約実行)の間のこと)について、決めておきます。

●「見守り」とは、定期的にお電話や訪問をさせていただき、いろいろなご相談をお受けします。また、良く相談されるのは、「自分では、認知症になったかどうか分からないので、怪しく(ご本人のお言葉です)になったら、すぐに教えて欲しい」ということです。確かに、自分では判断できませんので、不安だと思います。お会いしてお話した後、「全く問題ないと思いますよ」とお伝えすると、みなさま、安心されます。

●「財産管理契約」とは、認知症が発症しているわけではないのですが、ご自分で財産管理するのが難しくなられた場合、例えば、怪我をして病院に入院してしまった時などの財産管理について、予め、決めておくものです。

この時期は、ご本人さんの判断能力に全く問題はありませんで、最初に「契約」をした後は、特に何か手続きをすることはありません。一緒にご飯を食べに行ったりすることもあります(笑)。この時期に、いろいろお話しをさせていただくことで、より信頼関係を深めることができます。また、ご本人さんの好みなどもわかりますので、②、③のお手伝いの際に、より、ご本人さんの希望に沿った内容で、進めていくことができるのです。

◇弊所作成小冊子◇【相続手続きはじめてガイド】無料配布中！お電話、またはHPの「問い合わせフォーム」からお申し込み下さい。

●【飯島きよか司法書士事務所】

広島市中区西白島町 16 - 7 NiDi ビル2階  
TEL 082-502-6485 HP <http://sihou.biz>



## 足のむくみ解消に 「下向きの犬」

夏はむくみの季節。犬が背中を伸ばすときのようなポーズ「下向きの犬」で血液やリンパ液の循環をうながし、足の裏側を伸ばします。足のむくみや疲れが解消されて、スラリとした足になりますよ。おなかの引き締めにも効果大です。(取材協力：国際ヨガ協会)

①



②



③



① 正座から両手をまっすぐ前に伸ばし、おへそを床に着けるような感覚で体を前に倒す。両腕は肩幅程度に開く。

② 息を吸いながら腰を上げ、四つんばいになる。骨盤の下にひざがくるようにし、足先は立てる。

③ 息を吐きながら腰を一気に突き上げる。難しい場合はひざを曲げてもOK。

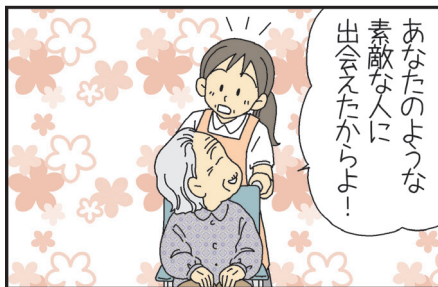
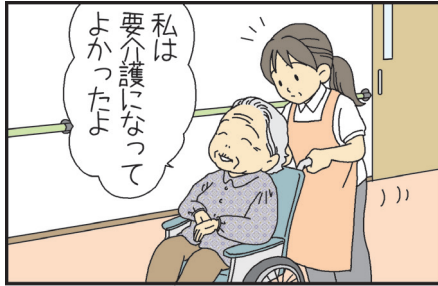
④ 両手でしっかりと床を押さえ、肩と胸を開く。腰をさらに高く上げながら、かかとを床へ。肩と腰はリラックス。数呼吸キープして、ひざを下ろして元に戻す。



旬カメラ

## 「月下美人」

寝苦しい夏の夜、暗闇の中で純白色の大きな花を咲かせる月下美人。これだけの美人を一晩しか眺められないのは残念です。花言葉は「はかない美、艶やかな美人」など。株の体力によってはもう一度花を咲かせるそうです。



### 編集後記

平均余命が頭打ちに。世界初の現象だ。人間の究極の願いであった命の期限の伸長。それがかなわぬことになっていく。これをどうとらえるのだろうか。おりしも胃ろうの是非を問う昨今。長く生きるよりも、どう生きるかにまなざしは変わる。お盆を迎えて亡き人を想ったとき、「すでに私達より先に命を終えたあなたは、これをどう思うのか。」と問うのもいいのかと思う。私たちには、正直、答えがでそうにない。(丸山)

## 地域包括ケア 「家族の集いを生かす」

お盆やお正月。みなさんの担当する利用者のお宅にも親戚や子どもたち、お孫さんたちが集まることがあったかと思えます。家族が集うせっかくの機会、どう生かすことができましたか。

元気な間にしかできないこと。それは家族の危機管理。いざというときにどう暮らしたいか、どんな医療を受けたいのか、判断能力が低下したとき誰

がどのように判断するのか、など、話し合っておきたいことがたくさんあります。ご家族から切り出しにくい話題ですから、本人から切り出すようにしむけるように。そのしかけを地域包括支援センターが担うというわけです。ライフイベントをうまく活用するということ意識しませんか。

### きゅぷす便り定期購読について

きゅぷす便りの定期購読をご希望の方は、お届け先の郵便番号、住所、事業所名(ご氏名)、「きゅぷす便り定期購読希望」と明記の上、下記フリーダイヤルFAX宛てにお送りください。無料でお届けします。

☎ FAX 0120-47-1704